

業界初！最新規格 H.264 SVC 採用テレビ会議システム

テレビ会議販売マルチベンダー国内最大手のV T Vジャパン、
米 VIDYO (ヴィディオ) 社のテレビ会議システム製品の販売開始平成 20 年 10 月 1 日
V T V ジャパン株式会社

テレビ会議システムの販売・コンサルティング最大手のV T Vジャパン株式会社（本社：東京都千代田区 代表：栢野正典、以下V T Vジャパン）は、新しい動画圧縮符号化方式である H.264 SVC (scalable video coding) *1 規格に準拠したテレビ会議システムを開発する、米国ヴィディオ社（本社：米国ニュージャージー州、CEO：Ofer Shapiro、以下ヴィディオ社）と販売代理店契約を締結しました。H.264 SVC 準拠のテレビ会議システムは、米国ヴィディオ社が業界で初めて開発したもので、ヴィディオ・ブランドでの国内販売は今回が初めてとなります。

ヴィディオ社はこれまでに 26 種類の特許を取得または出願中であり、通常の IP ネットワークを通じて HD クラスのテレビ会議を専用端末同士だけでなく、デスクトップ PC まで拡張させる画期的なテクノロジーを開発しました。これまでのテレビ会議システムはネットワーク品質に大きく依存するため、2～3% のパケットロスでも映像や音声に遅延が発生することが問題視されていました。ヴィディオ社の「VidyoRouter™」により、MCU *2 間でのコード変換が不要となるため、エンコードやデコードを行わずに最大 60 フレーム/秒による多地点接続が可能となります。また、「VidyoConferencing™」の持つ組み込み Error Resilency *3 機能により、受信側のネットワーク状況に合わせて必要なパケットだけを送信する仕組みで 20% のパケットロスまで影響を受けません。さらに、会議参加者の個別のネットワークトラブルが他の参加者に影響しないエラーに対する優れた耐性を持つため、重要な会議が途中で中断されるといった問題も解消されます。

HD 対応専用端末の「VidyoRoom™」からデスクトップ PC までが同じソフトウェアコードベースであるため、参加者の誰もがウェブ経由で 1 クリックするだけで簡単にテレビ会議を実施することが可能になります。また「VidyoGateway™」により、既存のテレビ会議システム（H.323、SIP）ともシームレスに接続できるため、これまでの投資を無駄にすることがありません。専用網や優先網が不要となるため、通信コストや設備投資削減にも大きく貢献します。

ヴィディオの開発には、世界的ビデオ・ネットワーク機器開発メーカーで Gatekeeper *4 や MCU を開発した現・米国ヴィディオ社 CEO の Ofer Shapiro、SIP *5 開発者の Henning Schulzrinne 教授、H.264/MPEG4-AVC のエディターで 2008 年に Primetime Emmy Award を受賞した Thomas Wiegand 教授など業界トップクラスの開発者が名を連ねています。またヴィディオの革新的なテクノロジーは、大手ネットワーク・ベンダーをはじめとする数々のグローバル企業のユニファイド・コミュニケーション・ソリューションにも採用が予定されています。

VTVジャパンはこれまでのテレビ会議システムが抱えていた遅延や IP ネットワーク品質の依存性などの技術的課題を解決し、本格的な映像コミュニケーションの鍵となるビデオ社のテクノロジーの先進性に大いに期待しています。

<ビデオ社 ジャパン カントリー・マネージャー 楠本 博茂氏によるコメント>

「VTVジャパンは日本のテレビ会議市場に存在する各社製品の特長を熟知し、お客様にとって最適なソリューションを提案することにより、大企業から中小企業までの幅広い顧客から信頼を得ています。ビデオ社の製品が既存システムの弱点を克服し、顧客満足度をさらに高める製品であることを理解していただけると確信しました。」

<ビデオ社 ワールドワイド セールス アンド サポート担当シニアバイスプレジデント Rob Hughes 氏によるコメント>

「私たちは、豊富な実績と信頼性の高い販売パートナーを持つVTVジャパンとの販売提携を歓迎いたします。VTVジャパンのテレビ会議システム市場におけるノウハウとすぐれた顧客サービスをビデオの最新技術と組み合わせることで、さらに力強い製品・サービスが提供できるものと確信しています。」

VTVジャパンは国内の販売代理店第1号店として、ビデオ社のテレビ会議システムソリューションの販売を2008年10月1日より開始、1年間で20ユーザー 2億円を販売目標としています。

【ビデオ製品概要】

VidyoPortal™

全ユーザー共通のウェブベースのインターフェースで、ユーザー認証や管理などを行う。

VidyoRouter™

ネットワークやCPUの制限項目を検知し適応するMCU。1～100ポートまで。HD720p60フレーム/秒対応。

VidyoGateway™

既存のAVC(H.323/SIP)およびMCUと接続可能。H.264/H.263、G.711/G.722対応。

VidyoRoom™ HD-200

VidyoDesktop Clientによる直観的なGUI。IP最大6Mbpsまで、HD720p 60フレーム/秒対応。

*1 H.264 SVC: SVC (Scalable Video Coding) は1つのビットストリームに複数のフレームレート・解像度を多重化できるようにH.264 (映像圧縮技術)を拡張した規格。

*2 MCU(Multipoint Control Unit): 多地点接続装置

*3 Error Resiliency: パケットロスが一時的に悪化しても、ネットワークの状態が改善されれば画像品質も改善されること。

*4 Gatekeeper: 電話番号とIPアドレスの対応付けなどを管理・運用する制御用サーバー

*5 SIP(Session Initiation Protocol): VoIPを応用したインターネット電話などで用いられる、通話制御プロトコルの一つ。

< V T V ジャパン株式会社について >

1995年7月設立。テレビ会議システムの販売、レンタル、インテグレーション、保守、貸テレビ会議室といったテレビ会議システムに特化した専門企業として、顧客のニーズに合わせた最適なトータルソリューションの提案を行う。オリックス株式会社、ハンティングワールドグループ、日本ヒューレットパカード株式会社、株式会社ミスミなどの大手企業による導入実績 400 社、販売累積台数 2000 台以上。

<http://www.vtv.co.jp/>

< Vidyo (ヴィディオ) 社について >

2005年4月設立。H.264 SVC 規格をベースとしたヴィディオ独自の知的財産であるテクノロジーを搭載し、世界中どこにいても IP ネットワークを通じて、復元性が高く低遅延のテレビ会議システムを開発。Mac や Windows のデスクトップから HD 対応の専用端末のどのプラットフォームでも 1 対 1 もしくは多拠点での接続が可能。2008 年 Interop(インターロップ)にて “ BEST STARTUP2008 ” を受賞。

<http://www.vidyo.com/>

本件に関するお問い合わせ先

V T V ジャパン株式会社

TEL : 03-5210-5021

詳しくはホームページ http://www.vtv.co.jp/topics/press_release20081001.html をご覧下さい